

通し番号	3975
------	------

分類番号	15-24-16-01
------	-------------

(成果情報名) 三浦半島の春ダイコンの有望品種	
[要約] 3月中旬までに収穫する作型では、根部肥大性から「冬みね」が良く、また4月上旬までに収穫する作型では、晩抽性の「春岬」、「MK-R711」が有望である。	
(実施機関・部名) 神奈川県農業総合研究所 三浦試験場 連絡先 046-888-3385	

[背景・ねらい]

2月下旬から4月上旬に収穫する三浦半島の春ダイコンでは、根部の形状・揃いが良く、さらに晩抽性で在圃性の高い品種が望まれている。しかし、品種の絞り込みが難しく、現状は十数品種が作付けされている。春ダイコン向けの有望品種を選定するため、5品種を供試し、根部肥大性や抽だい性を検討した。

[成果の内容・特徴]

- 1 「冬みね」(サカタ)、「こもれび」(武蔵野)、「うらはる」(シジエタ)、「春岬」(渡辺農事)、「MK-R711」(みかど)の5品種について、10月7日に播種し、3月1日に収量・品質調査、また3月5日以降週2回の抽だい、根部肥大調査を行った。
- 2 3月1日の収穫調査では、「冬みね」の肥大が最も進んでいた。「MK-R711」は短根ぎみであったが尻づまりは良かった。
- 3 平均抽だい長が最も早く10cmに達したのは「冬みね」(3月29日)で、最も遅かったのは「春岬」、「MK-R711」(4月19日)であった。
- 4 3月中旬までの収穫は根部の肥大や揃いから「冬みね」が有望で、それ以降は晩抽性の「春岬」や「MK-R711」に切り替えると4月上旬まで収穫が継続できる。

[成果の活用面・留意点]

- 1 共販の出荷規格では、抽だい長が10cm未満であれば出荷できる。
- 2 「MK-R711」(みかど)は平成16年4月現在市販されていない(種子の量産体制が整い次第販売される予定である)。

[具体的データ]

表1 収穫調査(3月1日:各区30本(15本×2ヶ所)調査)

品 種	全長(m)	根長(m)	葉長(m)	根径(m)	出荷重(g) (SD)
冬みね	56.8	34.2 (3.7)	22.6	8.2	1367.3 (332.2)
こもれび	49.1	26.2 (2.7)	22.8	8.1	1067.3 (170.5)
うらはる	53.6	31.1 (2.7)	23.6	7.9	1185.7 (238.1)
春 岬	54.4	31.3 (2.9)	23.1	7.9	1199.3 (304.1)
MK-R711	49.2	29.0 (2.9)	20.1	8.2	1207.7 (210.6)

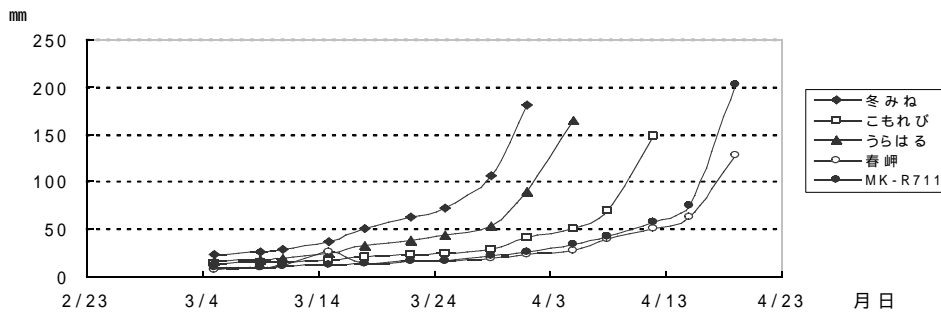


図1 抽だい長の変化

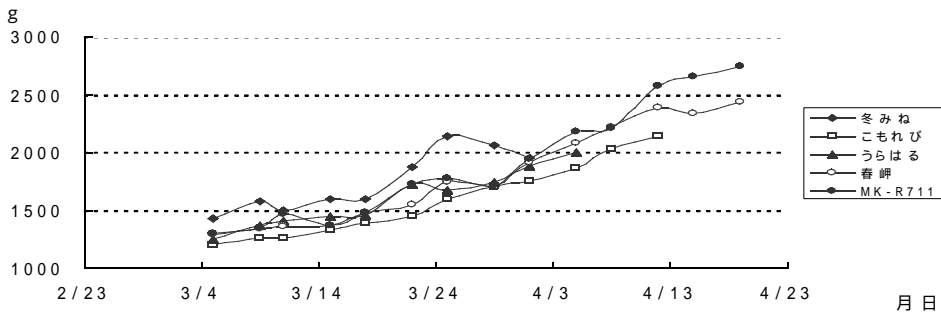


図2 根重の変化

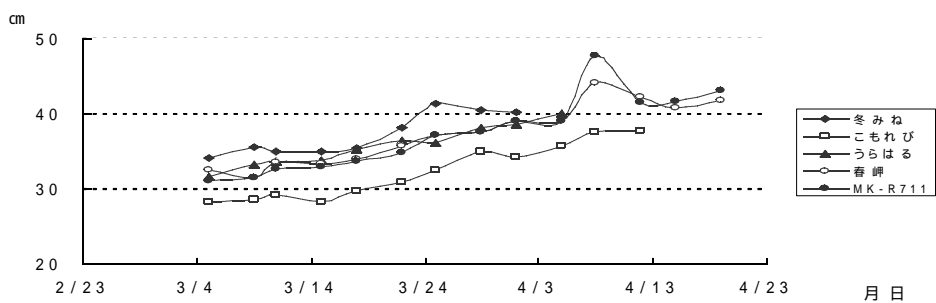


図3 根長の変化

[資料名] 平成15年度三浦試験場試験研究成績書(No. 9)

[研究課題名] 優良種苗の特性検定試験

[研究期間] 平成13~16年度

[研究者担当名] 田村正俊